

水道だより

私たちの暮らしの中の水道 vol.25

令和6年10月16日発行
経営企画課

☎237-5801 FAX 237-5819

津市の水道事業をもっと知っていただくために、水道事業の現状や課題、経営状況をシリーズでお伝えしています。今回は、水道事業会計の令和5年度の決算状況について見ていきます。

令和5年度決算(水道事業会計)を見てみよう！

収益的収支

収入…約 81 億円 支出…約 71 億円

収入

水道料金
約 66 億円

長期前受金戻入
約 8 億円

その他
約 7 億円

支出

水を作る費用
約 31 億円

うち受水費
約 24 億円

水を届ける費用
約 9 億円

減価償却費
約 19 億円

その他
約 12 億円

純利益※1
約 10 億円

※1 純利益には、現金収入のない長期前受金戻入(約8億円)を含む

資本的収支

収入…約 24 億円 支出…約 42 億円

収入

借入金
約 13 億円

補助金など
約 11 億円

不足額(約 18 億円)

収入の不足分については、減価償却費などで積み立てた資金で補いました※2

支出

耐震化事業
約 24 億円

施設整備事業
約 3 億円

借入金の返済※3
約 12 億円

その他
約 3 億円

※2 これまでの減価償却費等で得られた資金残高は、令和5年度末で約42億円

※3 借入金残高は、令和5年度末で約159億円



令和5年度の決算はどんな状況だったの？



収益的収支を見ると、水道料金を主な収入源として利益が出ていることが分かるよ。



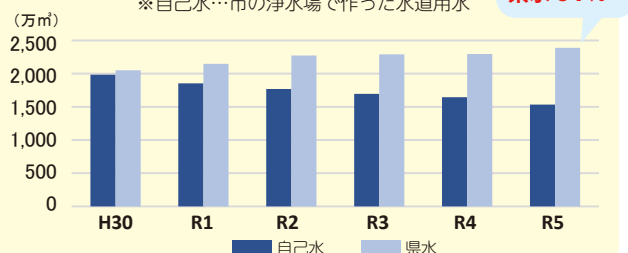
支出の中では、水を作る費用が一番大きいんだね。受水費ってなんなの？



津市の水道水のうち約61%(令和5年度)は三重県企業庁が作った水道用水(県水)を買って供給しているんだ。この水を買うのにかかる費用が受水費だよ。

自己水と県水の推移

※自己水…市の浄水場で作った水道用水



どうして県水を買っているの？



古くなった浄水場は更新しないといけないけど、更新にはとても多くのお金がかかるんだ。だから、近くに県の水道管があるところでは、浄水場を廃止して、県水に切り替えた方がメリットがある場合もあるんだよ。

県水に切り替えるメリットの一例

- 老朽化した浄水場の多額の更新費用を削減
- 地下水のくみ上げ等に係る電気代を削減
- 薬品費などの費用を削減
- 水源枯渇や水質悪化の傾向にある地域への安定供給



受水費はかかるけどメリットも多いんだね。



次に資本的収支を見てみると、主な事業(支出)は耐震化事業と施設整備事業だね。詳しくは次のページで解説するよ。